AtermIT21L 用　i･ナンバー（3 番号）の説明と使い方

2000 年 9 月

【対応機種＆ソフト名】

機 種 名	ソ　フ　ト　名	バージョン
AtermIT21L	ファームウェア	Ver.1.10 以降
	らくらくアシスタント(Windows 版)	Ver.1.10 以降
	らくらくアシスタント(Mac 版)	Ver.1.10 以降

【著作権者】　　日本電気株式会社
【対象ユーザ】　上記の対応機種をご使用のお客様
【転載条件】　　転載禁止

もくじ

1. お使いになる前に

2. ｉ･ナンバー（3 番号）について

3. 電話機から設定する

4. らくらくアシスタントで設定する

5. 次の機能を使うときには
   - 5.1 INS ボイスワープ
   - 5.2 モデム・ダイヤルイン
   - 5.3 着信転送

6. AT コマンドで設定する

1. お使いになる前に

i・ナンバー（3 番号）を利用するにあたって、設定を行うために、本装置のらくらくアシスタントが「利用できる／利用できない」で最初の設定方法が異なります。

■らくらくアシスタントが利用できるパソコンでは

らくらくアシスタントを実行すると、アナログ通信機器の利用に必要な設定のほとんどが完了します。
下記の条件に該当する場合は、らくらくアシスタントで設定を行ってください。

●らくらくアシスタントが利用できる条件

- ・データポート（シリアルポートまたは USB ポート）にパソコンを接続している
- ・パソコンで Windows Me/2000/98/95 または Macintosh(MacOS8.6 以上)を利用している

■らくらくアシスタントが利用できないときは

パソコン（AT コマンド）または電話機で設定します。

2. i･ナンバー（3 番号）について

i･ナンバー（有料）をご契約になると、複数の電話番号を持つことができます。相手の方がかけてきたときに通知される i･ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。

必要な INS ネット 64 の契約

● **i･ナンバー（有料）**

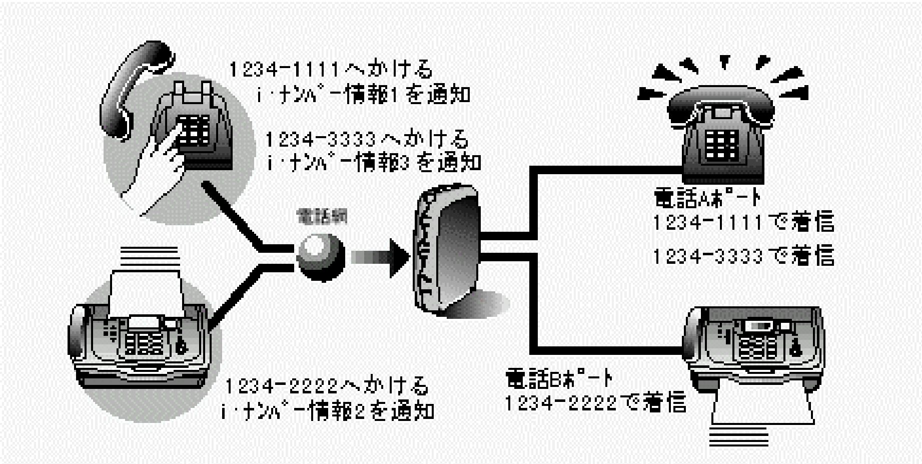
本サービスをご利用になるには NTT 東日本／NTT 西日本との契約が必要になります。
1 つ目の電話番号（契約者回線番号）が i･ナンバー情報 1、2 つ目の電話番号（追加番号）が i･ナンバー情報 2、3 つ目の電話番号（追加番号）が i･ナンバー情報 3 となります。

本装置で必要な設定

i･ナンバーを利用する旨と、相手の方が電話をかけてきたときに通知される i･ナンバー情報ごとに、着信するポートを設定する必要があります。

■ 3 つの電話番号で呼び分ける例

1234-1111（契約者回線番号）と 1234-3333（追加番号）での着信は電話 A ポートに、1234-2222（追加番号）での着信は電話 B ポートにする場合



回線契約と設定	i･ナンバー情報 1	i･ナンバー情報 2	i･ナンバー情報 3
回線の契約	i･ナンバーを契約する		
	1234-1111（契約者回線番号）が割り当てられる	1234-2222（追加番号）が割り当てられる	1234-3333（追加番号）が割り当てられる
i･ナンバーの設定	「i･ナンバー情報を使用する」を選択する		
電話番号の設定	1234-1111 を設定する	1234-2222 を設定する	1234-3333 を設定する
着信するポートの設定	「A ポート」を選択する	「B ポート」を選択する	「A ポート」を選択する

《お知らせ》
・「i･ナンバーを使用する」と設定した場合は、初期値として、契約者回線番号（i･ナンバー情報 1）に電話がかかってくると電話 A ポートに着信し、1 つ目の追加番号（i･ナンバー情報 2）に電話がかかってくると電話 B ポートに着信するようになっています。初期値のままだと、2 つ目の追加番号（i･ナンバー情報 3）に電話がかかってきても、アナログポートに着信しません。
・相手の方に通知する i･ナンバー（契約者回線番号または追加番号）は、電話 A ポートから電話をかけた場合は i･ナンバー情報 1 になり、電話 B ポートから電話をかけた場合は i･ナンバー情報 2 になります。
・初期値以外の着信／発信するポートの設定を希望される場合は、別途設定が必要になります。

3. 電話機から設定する

i･ナンバーを設定する

《アナログポートの設定を行う》

電話 A ポートに電話機を、電話 B ポートにファクスを接続するように設定します。

1) 受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【1】【0】【1】（電話 A ポート）→【＊】【1】（電話機）→【＃】→受話器を戻す
2) 受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【1】【0】【2】（電話 B ポート）→【＊】【2】（ファクス）→【＃】→受話器を戻す

《ｉ･ナンバー使用の設定を行う》

i･ナンバーを使用するように設定します。

受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【9】【0】【0】→【＊】【2】（使用する）→【＃】→受話器を戻す

《各ポートに着信させるｉ･ナンバー情報の設定を行う》

i･ナンバー情報 1 と i･ナンバー情報 3 を電話 A ポートに、i･ナンバー情報 2 を電話 B ポートに着信させるように設定します。

1) 受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【7】【1】【1】（電話 A ポート）→【＊】【1】【3】（i･ナンバー情報 1，i･ナンバー情報 3）→【＃】→受話器を戻す
2) 受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【7】【1】【2】（電話 B ポート）→【＊】【2】（i･ナンバー情報 2）→【＃】→受話器を戻す

《各ポートから発信するときのｉ･ナンバー情報の設定を行う》

電話 A ポートからは i･ナンバー情報 1 で、電話 B ポートからは i･ナンバー情報 2 で発信するように設定します。

1) 受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【7】【2】【1】（電話 A ポート）→【＊】【1】（i･ナンバー情報 1）→【＃】→受話器を戻す
2) 受話器を上げる→【＊】【＊】【6】【＊】→【7】【2】【2】（電話 B ポート）→【＊】【2】（i･ナンバー情報 2）→【＃】→受話器を戻す

《お知らせ》
・本装置では、着信転送の設定を電話機から行うことはできません。データポートにパソコンを接続し、らくらくアシスタントを利用して設定してください。

4.　らくらくアシスタントで設定する

らくらくアシスタントを起動する

<Windows Me/2000/98/95 の場合>

1. 本装置の電源を入れる。
2. ［スタート］をクリックし、［プログラム］→［AtermIT21L ユーティリティ］の順にポイント、［AtermIT21L らくらくアシスタント］をクリックする。

　らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。

<Macintosh の場合>

1. 本装置の電源を入れる。
2. ［IT21L らくらくアシスタント］アイコンをダブルクリックする。
3. 接続ポートを選択し、［OK］ボタンをクリックする。

　らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。

らくらくアシスタントを終了する

<Windows Me/2000/98/95 の場合>

1. 設定が終了したら、メニュー画面の［アシスタント終了］ボタンをクリックする。
2. 「はい」ボタンをクリックする。

　らくらくアシスタントが終了します。

<Macintosh の場合>

1. 設定が終了したら、メニュー画面の［アシスタントの終了］ボタンをクリックする。
2. ［OK］ボタンをクリックする。

　らくらくアシスタントが終了します。

i･ナンバーを設定する

1. ［INS 回線の電話番号の設定］ボタンをクリックする。
2. ［i･ナンバーを使用する］を選択する。
3. 項目を設定する。（画面は一例です）



［電話番号］

i･ナンバー情報 1、　i･ナンバー情報 2、　i･ナンバー情報 3 の電話番号を入力します。

※　－（ハイフン）は入力しなくてもかまいません。

［内線指定番号］

i･ナンバー情報ごとに 0～9 の数字を使って 4 桁の任意の番号を入力します。

※　アナログ・ダイヤルインを使用するときに設定します。

［着信するポート］

i･ナンバー情報 1、　i･ナンバー情報 2、　i･ナンバー情報 3 で呼び出すポートを選択します。

［発信するポート］

各アナログポート（A、B）とデータポートから発信したときに通知する電話番号を 1 つずつ選択します。

［1 ON］をクリックすると全ポートで i･ナンバー情報 1 の電話番号を通知します。

［2 ON］をクリックすると全ポートで i･ナンバー情報 2 の電話番号を通知します。

［3 ON］をクリックすると全ポートで i･ナンバー情報 3 の電話番号を通知します。

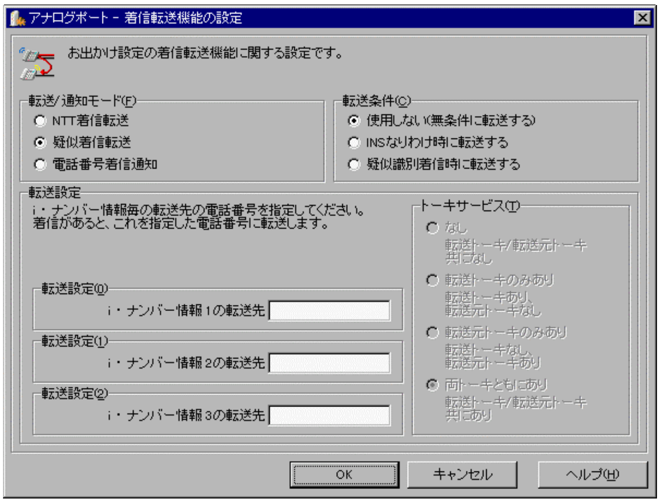
4. ［OK］ボタンをクリックする。

　らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

> 《お知らせ》
> ・電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、電話番号は正しく設定してください。

着信転送を設定する

1. ［アナログポートの詳細設定］ボタンをクリックする。
2. ［共通設定］タブをクリックする。
3. 設定項目から［着信設定］を選択する。
4. ［電話着信転送モード］を選択する。
5. ［着信転送設定］ボタンをクリックする。
6. 項目を設定する。（画面は一例です）



［転送／通知モード］

利用する転送方法を選択します。

［転送条件］

転送条件を設定します。

「INS なりわけ時に転送する」に設定した場合は、
あらかじめ INS なりわけ電話番号を登録しておきます。

「疑似着信転送時に転送する」に設定した場合は、
あらかじめ疑似識別着信用の電話帳に疑似識別する
電話番号を登録しておきます。

無条件に転送する場合は、「使用しない」を選択します。

［転送設定］

・i･ナンバーを利用した場合

転送先欄に各 i･ナンバー情報の転送先の電話番号を入力します。

※ －（ハイフン）は入力しなくてもかまいません。

※ ［転送／通知モード］で「電話番号着信通知」を選択した場合は、ここで BIGLOBE の ID も入力してください。

［トーキサービス］

転送トーキと転送先トーキを流すかどうかを選択します。

疑似着信転送をご利用のときは、トーキサービスを利用することはできません。

7. ［OK］ボタンをクリックする。
8. ［OK］ボタンをクリックする。

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

5.　次の機能を使うときには

5.1　INS ボイスワープ

INS ネット 64 の i ・ナンバーを使用し、かつ INS ボイスワープも使用する場合には、必ず i ・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、INS ボイスワープが正常に動作しません。

5.2　モデム・ダイヤルイン

INS ネット 64 の i ・ナンバーを使用し、かつモデム・ダイヤルインも使用する場合には、必ず i ・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、モデム・ダイヤルインが正常に動作しません。

5.3　着信転送

INS ネット 64 の i ・ナンバーを使用し、かつ着信転送も使用する場合には、必ず i ・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、着信転送が正常に動作しません。

また、i ・ナンバー情報毎に着信転送先を設定してください。

6.　AT コマンドで設定する

ｉ･ナンバーを設定するために必要な AT コマンドの詳細

＊PC	i･ナンバー発信用 i･ナンバー情報設定	
機能	i･ナンバー発信用の i･ナンバー情報を設定します。	
書式	AT＊PC＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	A、B（アナログポート）、N（データポート）
	＜パラメータ 2＞	1～3（i･ナンバー情報）
入力例	AT＊PCA=1	
補足	初期値は A=1、B=2、N=1	

＊PN	i･ナンバー情報の電話番号	
機能	i･ナンバー情報の電話番号を設定します。	
書式	AT＊PN＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	1～3（i･ナンバー情報）
	＜パラメータ 2＞	電話番号（0～9 の数字、10 桁まで）
入力例	AT＊PN1=0312345678	

＊PR	i･ナンバー着信用 i･ナンバー情報設定	
機能	i･ナンバー着信用の i･ナンバー情報を設定します。	
書式	AT＊PR＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞＜,パラメータ 3＞＜,パラメータ 4＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	A、B（アナログポート）、N（データポート）
	＜パラメータ 2＞～＜パラメータ 4＞	1～3（i･ナンバー情報）
入力例	AT＊PRA=1,2	
補足	初期値は A=1、B=2、N=1,2	

＊PX1	i･ナンバーの使用設定	
機能	i･ナンバーを使用するかどうかを設定します。	
書式	AT＊PX1=＜パラメータ 1＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	0：使用しない（初期値）
		1：使用する
入力例	AT＊PX1=1	

＊P?	i･ナンバーの設定表示
機能	i･ナンバーに関する設定を表示します。
書式	AT＊P?
入力例	AT＊P?